

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年3月30日
北アルプス地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	24	課題区分	A		
実施機関	北アルプス地域振興局林務課			担当課	所属 林務課
事業名	広葉樹素材生産モデル検証事業			電話	0261-23-6522
				E-mail	kitachi-rimmu@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	広葉樹林業のビジネス化			
	現状と課題	広葉樹林は北アルプス管内民有林面積の66%を占めるとともに、利用可能な51年生以上が85%と資源が充実しつつあり、本格的な収穫期を迎えようとしている。この貴重な地域資源を有効活用し、広葉樹林業がビジネスとして成り立つことを目指す。 一方、広葉樹の伐採から販売までの実施例は少なく、ビジネス化の実現に向けた検討データが不足していることから、広葉樹素材生産現場における作業工程や木材販売等の調査・解析を行い、コスト面におけるビジネス化の実現可能性の検討を進めていく必要がある。			
	内容 (変更後の内容)	・作業工程の都合により、調査を行う広葉樹素材生産モデル団地は令和2年度素材生産予定地の大町市北山団地とし、素材生産経費の算出基礎となる現地調査(測量及び林況調査)を実施する。なお、労働生産性、木材の規格内訳及び販売額調査は次年度春以降とし、併せて収益性の解析も次年度に行う。 ・本年度は当該地で広葉樹素材生産を行う「(企)山仕事創造舎」に役務費により事前調査を依頼する。 (なお、本年度は収益性等は解析を行わないため、委託事業による執行はしない。)			
	事業期間	令和2年3月3日		～	令和2年3月24日
成果目標 (成果指標)	・H33までに調査予定の9モデル団地の内1団地(大町市北山団地)において、広葉樹素材生産に係る事前の現地の概況調査を実施。(現場の進捗予定にあわせ、生産された木材の樹種・規格毎の販売額の把握は次年度に実施予定。)				
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	広葉樹素材生産モデル検証事業	素材生産見込の調査(事前調査)	98,945	役務費	
	合 計		98,945		
事業実績・成果	事業実績	事業の成果	評価		
	・大町市北山地区にモデル団地を設定 ・施業面積を確定するために周囲測量を実施 ・樹種・体積を把握するために標準地調査を実施 ・標準地調査の結果を基に樹種別、用途別生産見込みを算出	調査結果 ・面積1.33ha、路網密度240m/ha ・区域内傾斜 平均15° 車両系生産システムを適用 グラブソー利用が適当 ・ナラ薪を主体に約270m ³ 、290万円の売り上げが見込まれる	○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下		
今後の方向性	当該地において、伐採・集材・造材の労働生産性及び経費、生産された材の内容、価格を調査・分析する。				